

株式会社シフトセブンコンサルティング

貸借対照表

(2023年4月30日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>	2,166,427	<b>【流動負債】</b>	770,868
現金及び預金	1,818,327	買掛金	54,300
売掛金	337,770	短期借入金	187,602
前払費用	7,511	1年内返済予定長期借入金	171,739
未収入金	2,874	未払金	74,073
その他の流動資産	353	未払費用	36,861
貸倒引当金	△410	未払法人税等	178,532
<b>【固定資産】</b>	181,220	未払消費税等	56,532
<b>(有形固定資産)</b>	32,717	その他の流動負債	11,227
建物附属設備	19,595	<b>【固定負債】</b>	679,117
建物附属設備減価償却累計額	△1,761	長期借入金	679,117
工具器具備品	36,577		
工具器具備品減価償却累計額	△21,693	<b>負債の部合計</b>	1,449,985
<b>(無形固定資産)</b>	84,673	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	4,173	<b>【株主資本】</b>	897,662
ソフトウェア仮勘定	80,500	資本金	29,050
<b>(投資その他の資産)</b>	63,829	利益剰余金	868,612
関係会社株式	15,200	その他利益剰余金	868,612
敷金	32,003	繰越利益剰余金	868,612
差入保証金	5,000	(当期純利益)	(492,745)
保険積立金	10,826		
その他の投資等	800		
		<b>純資産の部合計</b>	897,662
<b>資産の部合計</b>	2,347,647	<b>負債及び純資産の部合計</b>	2,347,647

## 個別注記表

(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定額法並びに定率法によっております。

##### (2) 無形固定資産

定額法によっております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

期末債権の貸倒損失に備えるため、次の方法により計上しております。

###### 1 一般債権

貸倒実績率によっております。なお、当事業年度において繰入額はありません。

###### 2 貸倒懸念債権及び破産更生債権等

個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点は以下のとおりであります。

##### (1) SaaS ビジネス

SaaS 型のビジネスモデルのうち、サービスの利用に応じて履行義務が充足されるものについては、サービスを利用した時点で顧客が当該サービスから得られる便益を獲得し支配を獲得したと理解していることから、顧客の利用実績に応じて収益を認識しております。

SaaS 型のビジネスモデルのうち、サービスの基本利用料については利用期間において履行義務が充足されるため、契約期間を履行義務の充足期間として、履行義務を充足するにつれて一定の期間に渡り均等に収益を認識しております。

(2) BPO ビジネス

BPO 型のビジネスモデルは、自治体のふるさと納税に関する業務の受託であり、これらのサービスはサービスの提供時点において顧客が当該サービスに対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、サービスの提供時点で収益を認識しております。